

平成30年度事業報告

1 事業活動の概要

当会は、昭和41年に社団法人として設立されましたが、その後の公益法人改革に伴い、平成25年4月1日に「一般社団法人 科学技術と経済の会」に移行しました。それ以降、公益目的支出計画に沿った確実な遂行を続けてまいりました結果、29年度で完了することができ、平成30年12月14日には内閣府より実施完了の確認書を受領いたしました。今後は一般社団法人として各種事業の一層の充実などに努めて参る所存であります。

さて、当会を取り巻く平成30年度の経営環境は、緩やかながらも概ね堅調に推移したのではないかと思います。内閣府の発表によると、平成30年度の実質GDP成長率は0.9%程度、また、消費者物価(総合)は1.0%程度の上昇と見込まれています。輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益は過去最高を記録し、設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続いている状況です。この結果、日本の景気回復期間は「戦後最長になった可能性がある」との政府見解が発表されました。一方、年末に近づく頃から、米中貿易摩擦の影響が本格的に出はじめ、主要企業の業績が世界的に陰り始めています。日本でも、2019年1月の中国向け輸出が前年同月比17.4%減と大きく落ち込む、などの影響が出始めました。米中貿易摩擦のほか、Brexitのゆくえ、朝鮮半島問題、中近東における地政学的リスクなど海外情勢は予断を許さない状況が続いています。

そうした経営環境の中で、技術革新におけるグローバル競争はますます激しくなり、AI、IoT、ビッグデータなどの基盤技術をベースとして、自動走行、健康長寿、安心安全インフラ、フィンテック、次世代農業、次世代医療など数多くの分野で社会実装の段階に進んで参りました。当会では、これらのホットトピックスを研究会、講演会、見学会などで取り上げ、積極的な会員のご支援とご参加を得て、活発な経営研究事業を実施することができました。一例ですが、昨年9月に軽井沢で開催いたしました技術経営会議の本会議におきましては、過去最高となる200人超の参加者を得て、新技術の社会実装が進む中、成長が期待されるビジネスの展望と逆にその裏で発生するリスクや課題について、活発に議論することができました。

また、30年度には技術経営・イノベーション賞は第7回を迎え、従来からの文部科学大臣賞、経済産業大臣賞に加えて、新たに内閣総理大臣賞が創設され、31年2月には野上内閣官房副長官のご臨席のもと盛大に表彰式を実施することが出来ました。内閣総理大臣賞としては第1回となりますが、IoT技術を活用してシェアリング・エコノミーに新分野を開拓したパーク24(株)が表彰されました。このほか、文部科学大臣賞としてCYBERDYNE(株)、経済産業大臣賞として富士フイルム(株)など日本として誇るべきイノベーションが表彰されました。同時に東京工業大学の益学長から「大学がイノベーションを生み続けるために」をテーマに未来社会デザインに重要なイノベーションの創出や産学官の在り方に関するご講演をいただきました。

経営研究事業としては従来通り「技術経営会議」と「明日の経営を考える会」を二本柱とし、その他ホットなトピックを専門的に扱う研究会も併せて実施致しました。

「技術経営会議」では、前年から継続の「データ利活用によるサービスイノベーション専門委員会」について議論の集約を行い、その活動成果を平成30年1月に政策提言として発行致しました。30年度には、新しく「デジタル変革による新サービス創造専門委員会」の活動を開始しました。例年9月に実施している軽井沢本会議（第89回本会議：9月9日（日）～10日（月））は、前述の通り、統一テーマ『AI/IoT/ビッグデータの社会実装』として、産・官・学からの講師による基調講演をベースとして、7つのラウンドテーブルを設け、種々の切り口から討議を行いました。参加者は、経営幹部とCTOに加え若手キーパーソン等、昨年を大幅に上回る205名でした。女性会員もキーパーソンを中心に積極的な参加がありました。また、グローバルな活動として、6月にIRI 2018 Annual Conferenceに参加し、海外団体との関係再構築、情報収集を実施しました。

「明日の経営を考える会」では、引き続き、業界や分野を問わず「明日の経営」に資する講演会や見学会を開催するとともに、会員企業の相互理解とシナジーの醸成を目的とした会員企業によるショート講演を継続しました。また、「マネジメント研究会」、「ワーキングライフ研究会」を運営し、若手の人材育成活動の充実を図りました。なお、「マネジメント研究会」では「エコでビジネスを創造する」、ワーキングライフ研究会では「自分らしさを実現するためのキャリアデザイン～多彩な価値観の実現～」をテーマとして、各研究会ともメンバー固定の自主的な運営にて相互研鑽しました。加えて、二つの研究会の合同研究会を実施し、研究会相互の活発な交流を図りました。また、編集委員会では、座談会としての未来シリーズとして、テーマに応じた有識者の所属企業・団体を訪問しての座談会とすることを継続し、より一層の内容の充実と参加者増を実現しました。

このほか、30年度も継続して本会の特別会員（法人会員）向けのプログラムを充実させ、会員全体の活動を活性化するとともに、新規加入のバリエーションを低くし、会員ベースの拡大・充実を目指しました。この目的に添い、「イノベーション実践戦略研究会」を継続し、大企業とグローバルに活躍している中小企業やベンチャー企業との交流の場として、広く特別会員に参加を呼び掛けて実施しました。また、「ライフサイクル・メンテナンス研究会」では社会インフラのメンテナンス事業分野に土木・建設業界はじめ、ICT業界、各種サービス業界などの幅広い産業界が参画し、新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

平成30年度の受託・助成事業としては、「科学技術・イノベーションによる地球持続可能開発（Sustainable Development）に関する調査研究」を（一財）新技術振興渡辺記念会より受託し、SDGs研究会を開催するなど、約1年をかけて調査研究を行い、報告書をまとめました。さらに、スマートホーム技術や支払手段の電子化イノベーションの2テーマにつき、渡辺記念会より研究助成をいただきました。

また、ウェブのホームページ（*）、Facebook ページ（**）を活用し、直近のイベントについての開催通知や開催された研究会や講演会の様子を写真入りで紹介するなど、当会活動の情報発信を活発にいたしました。

（*）URL：<http://www.jates.or.jp>

（**）Facebook：<https://www.facebook.com/一般社団法人-科学技術と経済の会-268824476501008/>

人材育成事業については上記経営研究事業等を通じて人材育成の強化に努めるとともに、人材育成に焦点を絞った受託型、オーダーメイド型の「ICT研究会」を継続し、トップマネジメントとのディスカッションや現場研修等の充実強化を図り、主体性のある自立型の闊達な人材の育成に努めました。

会員の状況について、特別会員（法人会員）は、積極的な勧誘活動の結果、新規入会5社となりましたが、退会も4社あり、1社純増の107社となりました。一方、個人会員について新規入会18人、退会10人、8人の増となり、現状331人となりました。今後も本会の発展のために新規会員の獲得に努力してまいります。会員の皆様からのご指導・ご支援をお願い申し上げます。

上記のように活発な活動を進めつつ、事業収入増の努力と徹底した経費節約を行い、年度事業収支は若干の黒字を確保する事が出来ました。関係各位のご支援、ご協力により、事業計画を達成する事が出来ましたことを厚くお礼を申し上げます。

2 経営研究事業

2-1 技術経営会議

平成30年度は重点方針である“交流・発信・育成”を柱にさらなる改革・発展に向けて業務に取り組みました。この結果、各種会合への参加者は増加し、特に女性参加者も増加し、議論や交流が活性化しました。主な活動内容は以下の通りです。

澁谷副議長は、2018年9月に着任されました。

議長	日本電気(株) 代表取締役会長	遠藤 信博 氏
副議長	(株)竹中工務店 常務執行役員	谷口 元 氏
副議長	東日本電信電話(株) 代表取締役副社長	澁谷 直樹 氏

◇本会議		
開催日	内 容	開催場所
第89回本会議 平成30年9月9日 ～9月10日 統一テーマ 「AI/IoT/ビッグデータの社会実装」	審議事項：IRI 総会報告、活動報告、決算報告、次期役員選任 特別講演1 (ラウンドテーブル①のテーマ) 演題：AI/IoT/ビッグデータ社会の不確実性とリスク 講師：三井住友海上火災保険(株) 取締役 専務執行役員船曳真一郎氏 専門委員会報告 報告1 (ラウンドテーブル②のテーマ) 演題：働き方改革ー生産性向上とワークバランス 専門委員会報告 委員長：NTT コミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長 船橋 哲也氏 報告2 (ラウンドテーブル③のテーマ) 演題：データ利活用とサービスイノベーション専門委員会報告 委員長：(株)ぐるなび 代表取締役会長 CEO・創業者 滝 久雄氏 ショート講演 ショート講演1 (ラウンドテーブル④のテーマ) 演題：AIで豊かな社会を築く 講師：日本マイクロソフト(株)執行役員 最高技術責任者 榊原 彰氏 ショート講演2 (ラウンドテーブル⑤のテーマ) 演題：ブロックチェーンと組織 講師：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 教授 高木 聡一郎氏 ショート講演3 (ラウンドテーブル⑥のテーマ) 演題：オープンイノベーション時代のスタートアップとの協調 講師：DRAPER NEXUS VENTURES Managing Director 中垣 徹二郎氏 ショート講演4 (ラウンドテーブル⑦のテーマ) 演題：地球目線でみたSDGsの深層と未来への課題 講師：京都造形芸術大学 教授 竹村 真一氏 特別講演2 演題：グローバル化への対応/産業界の課題 講師：宮本アジア研究所代表 元在中国特命全権大使宮本 雄二氏 特別セッション ラウンドテーブル討論2018 特別講演3 演題：医療ヘルスケアを変革する仮想現実VRの最前線 講師：HoloEyes(株) Co-Founder 取締役 COO、 東京大学先端科学技術研究センター客員研究員杉本 真樹氏	軽井沢プリンスホテル

<p>第90回本会議 平成31年2月12日</p>	<p>1)遠藤議長 挨拶 当会も52年目となり、内容が充実してきた。技術経営・イノベーション賞にも内閣総理大臣賞が追加され大きな節目を迎えた。我々の会議が価値を生み出してきたなど、最近の情勢や技術経営会議専門委員会の方向などを含めての挨拶があった。</p> <p>2)活動状況報告（常務理事 太田健一郎より報告） ①平成30年度9月～平成31年1月の活動報告。 ②今後の諸会合の開催日程が説明。</p> <p>3)平成31年度事業計画案及び活動予算案について （常務理事 太田健一郎より説明） 以下について、事務局案の通りに承認された。 ①平成31年度事業計画案 ②平成31年度予算案</p> <p>4)特別講演 講演：大学がイノベーションを生み続けるために 講師：東京工業大学 学長 益 一哉 氏</p>	<p>如水会館</p>
<p>◇定例会</p>		
<p>第93回 平成30年6月5日</p>	<p>第6回技術経営・イノベーションシンポジウム 講演1：僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。 講師：(株)ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充 氏</p> <p>講演2：免疫チェックポイント阻害剤「オプジーボ」の開発 講師：小野薬品工業(株) 取締役常務執行役員 川澁 和一十 氏</p> <p>講演3：“ぶつからないクルマ？”スバルが生んだアイサイトの秘密 講師：(株)SUBARU 技術統括本部 統合制御統括上級 PGM 樋渡 穰 氏</p> <p>講演4：暗号技術による安心安全社会への貢献 講師：三菱電機(株) 開発本部 役員技監 松井 充 氏</p> <p>講演5：新たに開発した土と水の役割を果たすフィルムを用いる高品質農産物栽培システム（アイメック®） 講師：メビオール(株) 代表取締役社長 森 有一 氏</p> <p>講演6：呼吸で移動するがんをピンポイントで狙える粒子線がん治療装置の開発 講師：(株)日立製作所ヘルスケアビジネスユニット主幹技師 梅澤 真澄 氏</p>	<p>日比谷図書館 文化館</p>
<p>第94回 平成30年11月6日 (SDGsシンポジウム)</p>	<p>1) 活動報告 太田 健一郎 氏 JATES 常務理事 2) 特別講演 I 演題：日本企業が SDGs達成に真に貢献するには 講師：(株)日本総合研究所 理事 足達 英一郎 氏</p> <p>3) 特別講演 II 演題：「持続可能な開発目標」(SDG)について 講師：外務省国際協力局地球規模課題総括課課長補佐春田博己氏</p> <p>4) メンバースピーチ 演題：KDDIの5G/IoTの取り組み 講師：KDDI(株)技術統括本部 理事 宇佐見正士氏</p>	<p>日比谷図書館 文化館</p>
<p>◇代表者懇談会</p>		
<p>第21期第3回 平成30年4月19日</p>	<p>講演：規制のサンドボックス制度について 講師：内閣府 地方創生推進事務局 参事官 石谷 俊史 氏</p>	<p>JATES 会議室</p>

第21期第4回 平成30年5月11日	講演：「Society 5.0に向けた戦略分野」としてモビリティビジネス高精度位置情報利用による次世代型社会への貢献 講師：ダイナミックマップ基盤(株) 代表取締役社長 中島 務氏	
第22期第1回 平成30年10月9日	講演：未来投資戦略2018 講師：内閣官房日本経済再生総合事務局 参事官 庄崎 未果氏	
第22期第2回 平成30年12月4日	演題：無限に広がる民間宇宙ビジネス ～いよいよ始まる宇宙旅行時代～ 講師：(株)ASTRAX 代表取締役 民間宇宙飛行士 山崎 大地氏	
第22期第3回 平成31年1月15日	演題：テクノロジー・アート・デザインの総合力による未来提案 講師：日本電信電話(株)サービスエボリューション研究所主席研究員プロジェクトマネージャ木下真吾氏	
◇政策委員会 委員長：日本電気(株) 代表取締役会長 遠藤 信博氏		
第22回 平成30年7月5日	議題：データ利活用とサービスイノベーション委員会の提言について 講演：第4次産業革命とシステム化 --- システムイノベーションセンター設立に向けて 講師：早稲田大学理工学術院招聘研究教授 理化学研究所BSI・トヨタ連携センター研究アドバイザー 木村 英紀氏	JATES 会議室
第23回 平成30年12月22日	議題：データ利活用とサービスイノベーション委員会の提言について 講演：我が国の研究力向上に向けた取組みについて 講師：松尾 泰樹氏 文部科学省：科学技術・学術政策局長	JATES 会議室
第24回 平成31年3月1日	議題：データ利活用とサービスイノベーション委員会の提言について 講演：技術振興・大学連携推進課施策のご紹介 講師：経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課長 松岡 建志氏	JATES 会議室
◇働き方改革～生産性向上とワーク・ライフバランス～専門委員会 委員長：NTTコミュニケーションズ(株) 代表取締役副社長 船橋 哲也氏		
第11回 平成30年4月27日	講演1：三井住友海上のRPA導入活用事例 講師：三井住友海上火災保険(株)デジタル戦略部企画チーム 課長(上席) 近田 伸矢氏 講演2：RPAを活用した「働き方改革」の取組 講師：(株)電通 ビジネスプロセスマネジメント局業務推進室 推進1部長 岩井 隆宜氏	JATES 会議室
第12回 平成30年5月22日	講演：働き方改革と生産性向上 講師：(株)リクルート 主任研究員 清瀬 一善氏	
◇データ利活用とサービスイノベーション専門委員会 委員長：(株)ぐるなび 代表取締役会長 CEO 創業者 滝 久雄氏		
第9回 平成30年5月15日	講演：イノベーションの本質：それは何ではないか 講師：一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授 楠木 建氏	JATES 会議室
第10回 平成30年6月12日	講演：Uberが取り組むテクノロジーによる交通の変革 講師：Uber Japan(株) 政府渉外・公共政策部長 安永 修章氏	
第11回 平成30年7月17日	講演：創造性ーアートとデータサイエンス、人工知能 講師：武蔵野大学 工学部数理工学科 准教授 博士(工学) , アジア AI 研究所 研究員 中西 崇文氏	
◇デジタル変革による新サービス創造専門委員会 委員長：三菱電機(株) 開発本部 役員技監 杉浦 弘明氏		
第1回 平成30年10月26日	講演：デジタルイノベーションの衝撃 講師：みずほ銀行執行役員産業調査部長 牛窪恭彦氏	ホテルグランドパレス
第2回 平成30年11月30日	講演：デジタル変革時代に顧客起点がサービスの何を変えるか 講師：(株)電通デジタル 執行役員 八木 克全氏	JATES 会議室

第3回 平成30年12月14日	講演：デジタル変革における、BTC(Business Technology Creative)型人材と『デザイン経営』の重要性 講師：(株)Takram 代表取締役 田川 欣哉 氏	理窓会会議室
第4回 平成31年1月17日	講演：東京ガスにおけるサービスイノベーション 講師：東京ガス(株)執行役員デジタルイノベーション戦略部長門正之氏	JATES 会議室
第5回 平成31年2月22日	講演：「消費から投資へ」を目指す新たな金融サービス 講師：トラノテック(株)取締役シニアマネジングディレクター藤井亮介氏	
第6回 平成31年3月8日	議題：①ICANN よりのご講演 ・ ICANN 幹部から ICANN の紹介と最近の話題の説明 ・ ビジネス界から最近の技術トレンドやビジネスにとっての関心事の説明 ②JATES よりデータ利活用の提言 (1月21日発表)について ③意見交換と質疑応答 Director, Legislative & Political Affairs (BC Chair)(注) Steve DelBianco, President and CEO, NetChoice (BC Vice Chair) Marilyn Cade, CEO, mCADE ICT Strategies (Chair of BC Outreach Committee) Chris Mondini, VP, ICANN https://www.icann.org/profiles/273 John Crain, Chief Security, Stability & Resiliency Office, ICANN https://www.icann.org/profiles/179 (注)BC は Business Constituency の意味で、ビジネス界の立場で ICANN に参加するグループを意味。	

2-2 明日の経営を考える会

「特徴化経営の推進」を指向する異業種企業が集まり、新しい企業環境に適応する経営研究を進めるとともに、会員相互の交流を強化するため以下のとおり事業活動を推進しました。

[平成30年度活動方針]

1. 年間活動内容の充実と参加者の維持・増強により会員企業の満足度の向上を図る
2. 「明日の経営」に資する情報の発信・流通基地とする

代表幹事 (株)協和エクシオ 相談役 石川 國雄 氏(6月末まで)
代表幹事 古河電気工業(株) 代表取締役社長 小林 敬一 氏
代表幹事 (株)ドコモCS 代表取締役社長 徳広 清志 氏(7月から)

◇例会・個別講演会		
開催日	内容	開催場所
第160回例会 平成30年5月29日	平成29年度「ワーキングライフ研究会」、「マネジメント研究会」成果報告 ・ワーキングライフ研究会テーマ： 「キャリアデザイン～輝ける女性の働き方～」 ・マネジメント研究会テーマ：「イノベティブな事業創造」	ホテルグラ ンドパレス

第 161 回例会 平成 30 年 8 月 28 日	特別講演 1：空飛ぶクルマ開発 2020 夢への挑戦 講師：CARTIVATOR 共同代表 福澤 知浩 氏 (一社)CARTIVATOR Resource Management 代表理事 特別講演 2：経営戦略としての働き方改革 講師：(株)佐々木常夫マネージメント・リサーチ 代表取締役 佐々木 常夫 氏(元 (株)東レ経営研究所 社長)	
第 3 回個別講演会 平成 30 年 10 月 25 日	講演：The NewSpace Economy ～宇宙ベンチャーが作り出す新宇宙経済圏と他産業への波及～ 講師：グローバル・ブレイン(株) 宇宙・ロボティクス担当パートナー青木 英剛 氏	JATES 会議室
第 162 回例会 平成 30 年 11 月 15 日	平成 30 年度「ワーキングライフ研究会」、「マネジメント研究会」 中間報告 ・ワーキングライフ研究会基本テーマ： 「自分らしさを実現するためのキャリアデザイン～多彩な価値観の実現～」 ・マネジメント研究会テーマ：「エコでビジネスを創造する」	ホテルグランドパレス
第 163 回例会 平成 31 年 1 月 30 日	特別講演：福島第一原子力発電所の現状と今後の課題 講師：東京電力ホールディングス(株) 常務執行役 福島第一廃炉推進カンパニープレジデント 小野 明 氏 会員企業からのショート講演 1. アイコムシステック(株) 2. (株)ミライト・テクノロジーズ	ホテルグランドパレス
第 164 回 平成 31 年 3 月 18 日	特別講演：ゲノム研究活動からみえる日本の現状 ～イノベーション創発のための私仮説検証～ 講師：東京工業大学生命理工学院 准教授 相澤 康則 氏 会員企業からのショート講演 1. 三菱電機(株) 2. (株)ミライト	ホテルグランドパレス
◇代表者・幹事会		
第 143 回 平成 30 年 5 月 10 日	審議事項：会員企業代表幹事の交代、平成 29 年度決算、 平成 30 年度活動予算 報告事項：平成 30 年度活動状況、活動予定 メンバースピーチ： テーマ：ワイヤレス時代を支えるアンテナの現状と今後の展開 話題提供：日本電業工作(株)	JATES 会議室
第 144 回 平成 30 年 9 月 7 日	報告事項：平成 30 年度活動報告、今後の活動計画 メンバースピーチ： テーマ：コムシスグループの再生エネルギー事業への取り組み 話題提供：日本コムシス(株)	
第 145 回 平成 31 年 2 月 14 日	審議事項：平成 31 年度活動計画、活動予算 報告事項：平成 30 年度活動状況、活動予定 メンバースピーチ： テーマ：中国歴史教科書を読む 話題提供者：(株)フジクラ	
◇マネジメント研究会		
基本テーマ：エコでビジネスを創造する コーチ：松嶋 清秀 氏 (M x E コンサルティング(株) 代表取締役) 平成 30 年度参加者：11 名 ・キックオフ会議：平成 30 年 6 月 4 日 ・合宿 (平成 30 年 7 月 24 日～7 月 25 日)		JATES 会議室 (合宿は、ホテルメイプルイン幕張にて実施)

<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議（平成30年8月27日、9月25日、10月10日、12月7日、平成31年1月11日、2月15日、3月15日） ・中間報告（平成30年11月15日） ・合同研究会（平成31年1月21日） 訪問先：サイボウズ(株) ・意見交換会（平成31年3月15日） テーマ：福島第一原発事故についての福島住民のとらえ方 有識者：経済産業省 貿易経済協力局 技術・人材協力課長 紺野 貴史 氏 (福島復興局併任) 	
◇ワーキングライフ研究会	
<p>基本テーマ：自分らしさを実現するためのキャリアデザイン～多彩な価値観の実現～ 平成30年度参加者：10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフ会議（平成30年6月20日） 講演：人生100年時代のキャリアデザイン 講師：ジャーナリスト/淑徳大学 教授 野村 浩子 氏 ・研究会（平成30年7月18日、8月8日、9月12日、10月3日、10月18日、10月31日、11月7日、12月20日、平成31年1月9日、1月28日、2月20日、2月26日、3月13日） ・中間報告（平成30年11月15日） ・先進企業訪問 三菱電機(株) 情報技術総合研究所（平成31年3月20日） ・合同研究会（平成31年1月21日） 訪問先：サイボウズ(株) ・有識者ヒアリング (株)フジクラ（平成31年3月19日） 	JATES 会議室
◇見学会	
<p>第115回（平成30年4月20日） 見学先：(独)製品評価技術基盤機構(NITE) 第116回（平成30年8月1日） 見学先：(一財)電力中央研究所 第117回（平成30年11月7日） 見学先：パナソニック(株) パナソニックセンター東京 第118回（平成30年12月5日） 見学先：メビオール(株) 第119回（平成31年3月1日） 見学先：NTT 武蔵野研究開発センタ</p>	
◇編集委員会	
<p>第107回編集委員会（平成30年6月29、30日）：(合宿 於：群馬県沼田市) 第13回未来シリーズ 見学&ラウンドテーブル（平成30年6月15日） テーマ：「未来の移動通信」 講師：(株)NTTドコモ 先端技術研究所 所長 滝田 亘 氏 (株)NTTドコモ 先端技術研究所 5G推進室 主幹研究員 奥村 幸彦 氏 明経コミュニケーション誌第109号発行（平成30年7月） 第14回未来シリーズ 見学&ワークショップ（平成30年9月14日） テーマ：「未来の都市サービスにおけるデータの活用(Society5.0)」 ～オープンイノベーションの実践手法～ 講師：(株)日立製作所 研究開発グループ システムイノベーションセンター 社会システム研究部 部長 谷 繁幸 氏 研究開発グループ 技術戦略室 技術顧問 石川 晃 氏 研究開発グループ 技術戦略室 技術統括センター 産学連携部 藤原 正一郎 氏 研究開発グループ システムイノベーションセンター セキュリティ技術部 平島 陽子 氏 研究開発グループ システムイノベーションセンター 社会システム研究部 川村 俊二 氏 研究科発グループ システムイノベーションセンター セキュリティ技術部 堀 悟 氏 研究開発グループ システムイノベーションセンター 社会システム研究部 北原 圭 氏</p>	

明経コミュニケーション誌第110号発行（平成30年10月）
 第108回編集委員会（平成30年10月29日）
 第109回編集委員会（平成30年12月18日）
 明経コミュニケーション誌第111号発行（平成31年1月）
 明経コミュニケーション誌第112号発行（平成31年3月）
 第110回編集委員会（平成31年3月26日）

2-3 ライフサイクル・メンテナンス研究会

(1) 活動の概要

社会インフラのメンテナンス事業分野に土木・建設業界はじめ、ICT業界、各種サービス業界などの幅広い産業界が如何に参画し、魅力的なメンテナンス事業を目指していけるか、という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

- ・平成30年4月～平成31年3月の1年間
- ・社会インフラのメンテナンスを中心とした専門家を講師とした講演会、討論、交流の場
- ・数回は会社・現場見学を併せて実施
- ・委員長：早稲田大学 教授 高田祥三氏

開催日	内容	開催場所
第143回研究会 平成30年5月23日	講演：転落途上国からの復活の覚悟 ～危機にある日本～ 講師：(公社)土木学会 会長 (一社)全日本建設技術協会 会長 大石 久和 氏	JATES 会議室
第144回研究会 平成30年6月29日	見学：(株)SUBARU 群馬製作所 ・スバルビジターセンター（矢島工場内） 講演：“ぶつからないクルマ？” スバルが生んだアイサイトの秘密 「矢島スペシャル！」 講師：(株)SUBARU スバル統合制御統括 上級PGM 樋渡 穰 氏	群馬県太田市
第145回研究会 平成30年7月18日	講演：都における下水道管のビッグデータを活用した メンテナンスと再構築計画について 講師：東京都下水道局 計画調整部 緊急重点雨水対策事業担当課長 奥田 千郎 氏	JATES 会議室
第146回研究会 平成30年9月21日	見学：CYBERDYNE STUDIO ・CYBERDYNE STUDIO のガイドツアー ・CYBERDYNE STUDIO オリジナルムービー ・ロボットスーツHAL 動作原理の体験	茨城県つくば市
第147回研究会 平成30年10月26日	講演：屋外インフラ設備のスマートメンテナンスに向けた技術開発 講師：エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株) 取締役 技術開発部長 南橋 丈二 氏	JATES 会議室
第148回研究会 平成30年11月16日	見学：JR 東京総合車両センター ・JR 在来線車両の定期検査・修繕の実態	東京都品川区
第149回研究会 平成30年12月11日	見学：電源開発(株) 磯子火力発電所 ・展示室、タービン、発電機、運転センター他	神奈川県横浜市
第150回研究会 平成31年2月22日	見学：富士通 netCommunity 講師：豊かな社会における脅威 ～IoTを含めたセキュリティ対策への取り組み～ 講師：富士通(株)データセンタプラットフォーム事業本部 プリンシパル・アーキテクト 天満 尚二 氏	東京都千代田区

2-4 イノベーション実践戦略研究会

(1)活動の概要

大企業とグローバルに活躍している中小企業やベンチャー企業との交流の場として、イノベーションを促進することを目的として、平成30年度も広く特別会員に参加を呼び掛けて実施しました。毎回、50名～80名の参加の下、講演と活発な質疑応答、終了後の講師と参加者を交えた交流会を通して、有意義な場づくりができました。

- ・平成30年4月～平成31年3月の1年間、毎月1回開催
- ・オンリーワン企業、ベンチャー企業の経営者を講師とした講演会、討論、交流の場
- ・数回は会社・工場見学を併せて実施
- ・委員長：政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏

開催日	内 容	開催場所
第1回研究会 平成30年4月26日	講演：量子コンピュータ研究開発の現状と将来 ～量子アニーリングを中心として～ 講師：東京工業大学 理学院 教授 西森 秀稔 氏	ホテルグラ ンドパレス
第2回研究会 平成30年5月25日	見学：(株)スマートアグリカルチャー磐田 (SAC iwata) 講演：スマートアグリカルチャー磐田の取り組みご紹介 講師：(株)スマートアグリカルチャー磐田 代表取締役社長 須藤 毅 氏	静岡県磐田市
第3回研究会 平成30年6月21日	講演：マイクロ波化学プロセスにより化学産業にイノベ ーションを起こす 講師：マイクロ波化学(株) 代表取締役社長CEO吉野 巖氏	理窓会倶楽部
第4回研究会 平成30年7月19日	講演：Imaging AI～次世代イメージングテクノロジーのデフ ァクト・スタンダードを目指して 講師：(株)モルフォ 代表取締役社長 平賀 督基 氏	
第5回研究会 平成30年8月24日	見学：(株)小林製作所 講演：ICT 徹底活用による職人とコンピュータの融合 講師：(株)小林製作所 代表取締役社長 小林 靖典 氏	石川県白山市
第6回研究会 平成30年9月19日	講演：独自技術を用いた気象予測とその利活用について 講師：(株)ウェザーニューズ 取締役 執行役員 最高運営責任者 安部 大介 氏	理窓会倶楽部
第7回研究会 平成30年10月22日	講演：超多次元型組織で未来を創る 講師：チームラボ(株) 取締役 堺 大輔 氏	
第8回研究会 平成30年11月29日	見学：(株)安川電機 ロボット工場 講演：ロボットで社会が変わる！ 講師：(株)安川電機 みらい館館長 岡林 千夫 氏	北九州市 八幡西区
第9回研究会 平成30年12月20日	講演：シェアリングエコノミーのインパクト 講師：(株)ガイアックス 代表取締役社長 上田 祐司 氏	理窓会倶楽部
第10回研究会 平成31年1月24日	講演：AI Platform「HEROZ Kishin」における産業活用のご紹介 講師：HEROZ (株) 執行役員 開発部長 井口 圭一 氏	
第11回研究会 平成31年2月15日	講演：画期的新素材 LIMEX により、SDGs に貢献 講師：(株)TBM 開発本部長 水野 英二 氏	
第12回研究会 平成31年3月12日	講演：ハイクラス転職市場の新たなイノベーション 講師：(株)ビズリーチ 代表取締役社長 南 壮一郎 氏	

2-5 ICT 研究会

クラウドコンピューティングやスマートフォンの急速な普及など、ICT システムは益々重要になっています。今後の ICT 事業の成長を促進し、ICT 技術、ソリューションをリードしていくことの出来る、自律的な人材の育成を目的として、ICT に関わる企業の中堅幹部、エンジニアの方を対象に、幹部対話会や企業訪問研修等の活動を充実・強化して推進しました。

・参加社：11 社

2-6 センサー&データフュージョン研究会

センサー等デバイスや計測装置から発生するデータからいかに価値ある情報を創り出すか、そのためのイノベーションを起こす仕組みをいかに創るかに焦点を当て、サプライ側、ユーザー側、学界等、各領域の研究で活躍している方を講師として招きその領域での課題、研究要素、ビジネス化の課題等を認識・議論しました。

・委員長：現健康増進ネットサービス合同会社代表社員、元ソニー(株)上席常務 渡辺 誠一 氏

開催日	内 容	開催場所
第 13 回研究会 平成 30 年 5 月 10 日	講演 1：住生活の IoT とデータ活用 講師：(株)LIXIL Technology Research 本部システム技術研究所 所長 三原 寛司氏	JATES 会議室
第 14 回研究会 平成 30 年 5 月 18 日	講演：医療と融合するウェアラブルエレクトロニクスの現在と 未来 講師：東京大学大学院工学研究科 教授 染谷 隆夫 氏	
第 15 回研究会 平成 30 年 6 月 26 日	講演：MEMS、フレキシブルセンサを用いた無線センサデバイス の開発とモニタリングシステムへの応用 講師：(国研) 産業技術総合研究所社会実装化センサシステム 研究チーム長 小林 健 氏	
第 16 回研究会 平成 30 年 7 月 10 日	講演：音声感情解析 AI「Empath」が目指す人により添う技術、 Voice Interface と Affective Computing の融合 講師：(株)Empath 代表取締役 下地 貴明 氏	
第 17 回研究会 平成 30 年 9 月 14 日	講演：トヨタのものづくりにおける KIROBO の位置付け 講師：トヨタ自動車(株) 法人事業部 主査 片岡 史憲 氏	
第 18 回研究会 平成 30 年 10 月 3 日	講演：Singapore's Digital Agenda 講師：シンガポール経済開発庁 日本事務所 所長 リン・イティン氏	
第 19 回研究会 平成 30 年 11 月 13 日	講演：Iot AI 5G、セキュリティが成長の源泉に 講師：国際技術ジャーナリスト・NEWS&CHIPS編集長 津田建二氏	
第 20 回研究会 平成 30 年 12 月 6 日	講演：FinTech と中央銀行の視点 講師：日本銀行決済機構局 FinTech センター 決済高度化グループ長 菅山 靖史 氏	インテリジェン トロビー・ルコ
第 21 回研究会 平成 31 年 2 月 19 日	講演：ナノ・マイクロ科学の構築と Society5.0 における医療・農業・ 情報理工学への展開 講師：早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究気候教授 水野 潤 氏	JATES 会議室

2-7 SDGs 研究会

SDGs(Sustainable Development Goals、持続可能開発目標)について、本年度はまずは国内外のSDGs をめぐる動きや、官側からの取組について理解するために講師を招き開催しました。今後は、科学技術とイノベーションの視点からわが国発のSDGs に貢献しているイノベーション事例に焦点を当て、その分野・研究で活躍している方を講師として招き、そのプロセス等を認識・議論していきます。

・委員長：東京工業大学特任教授 田辺 孝二氏

開催日	内 容	開催場所
第3回研究会 平成31年5月9日	講演1：SDGsに関するLIXILの取り組み～世界の衛生問題をビジネスで解決～ 講師：(株)LIXIL Social Sanitation Initiatives 主査 坂田 優 氏 講演2：清水建設の海洋未来都市GREEN FLOATへの取り組み 講師：清水建設(株) フロンティア開発室 海洋開発部 上席エンジニア 竹内 真幸 氏	JATES 会議室
第4回研究会 平成30年6月4日	講演：富士通のSDGs への取り組み E(環境)活動を中心に(ご紹介) 講師：富士通(株) 環境・CSR本部本部長 金光 英之 氏	理窓会倶楽部
第5回研究会 平成30年7月9日	講演：SDGsビジネスの可能性とルール形成 講師：経済産業省 産業技術環境局 審議官 佐藤 文一 氏 経済産業省 基準認証政策課 高木 美香 氏	JATES 会議室
第6回研究会 平成30年7月27日	講演1:鹿島建設のSDGsへの取り組み 講師：鹿島建設(株) 技術研究所 所長 講演2:NECのSDGsへの取り組み 講師：日本電気(株)環境・品質推進本部 環境推進部稲垣 孝一氏	
第7回研究会 平成30年9月28日	講演:OKIのSDGsにおける風土改革の取り組み 講師：沖電気工業(株) 経営基盤本部 OKIイノベーション塾長 千村 保文 氏	Yume ST(夢スタ)
第8回研究会 平成30年12月19日	講演:最先端 e-Learning の新興国への展開～子どもたちの基礎学力底上げのために 講師:(株)すららネット 代表取締役社長 湯野川 孝彦 氏	JATES 会議室

2-8 FF会

当会が企画・運営の支援を行っているFF会は、原則として毎月第4金曜日に開催し、科学技術等に係わる諸問題についての卓話とそれに基づく議論を行っています。平成30年度は「不確実性の時代をリードするSDGsの実現に向けて」をテーマに掲げて、例会9回、見学会2回、SDGsカードゲームを活用した研修会を実施しました。

3 普及啓発事業

3-1 月刊機関誌「技術と経済」の発行

科学技術と経済の会の各研究会の活動成果を広く普及啓発するため、各研究会の講演録を主体とする構成とし、掲載記事の内容の充実を図りました(特集テーマについてはWebサイトに掲載して会員外も参照可能としました)。発行号数は平成30年度末で625号となりました。

3-2 「技術経営・イノベーション賞」の表彰実施

平成30年度の「技術経営・イノベーション賞」は、優れたイノベーション案件の幅広い発掘を重点にするとともに、協賛機関として（一財）新技術振興渡辺記念会の参加を得て実施しました。

(1) 第7回表彰式 平成31年2月12日 如水会館

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ①主催者挨拶：(一社) 科学技術と経済の会 会長 | 遠藤 信博 |
| ②来賓挨拶：内閣官房副長官 | 野上 浩太郎 様 |
| 文部科学省 大臣官房審議官(科学技術・学術政策局担当) | 渡辺 その子 様 |
| 経済産業省 産業技術環境局長 | 飯田 祐二 様 |

③受賞テーマと受賞者

表彰	テーマ	受賞者
内閣総理大臣賞	IoTを活用した駐車場・カーシェア事業	パーク24(株)
文部科学大臣賞	ロボットスーツHAL®	CYBERDYNE(株)
経済産業大臣賞	ビッグデータ・IoT時代を支えるバリウムフェライト磁性体を用いた大容量データテープの開発	富士フイルム(株)
科学技術と経済の会会長賞	史上初の緩むことのないネジ締結体「L/Rネジ」の事業化	(株)NejiLaw
科学技術と経済の会会長賞	日本発・世界初の抗IL-6受容体抗体アクテムラ®	中外製薬(株)
科学技術と経済の会会長賞	積層型イメージセンサの開発	ソニー(株)、ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)
選考委員特別賞	開発途上国向け SATO トイレシステム	(株)LIXIL

3-3 ホームページの活用

会員や社会との情報共有に向けて、主なイベント情報、研究会情報等の迅速かつ明確な内容の掲載を行い、情報発信力の強化を図りました。ホームページの構成・内容について全般的な見直しとリニューアルを行い、シンプル化及び見やすさを向上させて会員サービスの向上を図りました。また、会員勧誘を目的として、会員外のお試し参加申し込みをホームページからできるようにしました。

3-4 名古屋支部の活動

支部活動を通じた会員相互の緊密な連携を図るため、談話会（9回）を中心に講演会（1回）、企業見学会（1回）等の活動を実施しました。

4 国際活動事業

2018年6月に IRI 2018 Annual Conference に参加し、海外団体との関係再構築、情報収集を実施しました。IRI (Innovation Research Interchange) の会員企業・団体数は136。今回は総勢約250名の参加がありました。10年近く途絶えていた IRI との交流を復活し、双方のホームページからリンクを張ることにしました。運営方法に関しても参考になる面が多々あり、今後も交流を深めていくことになりました。

5 受託・助成事業

平成30年度は下記の受託・助成事業を実施しました。

5-1 科学技術・イノベーションによる地球持続可能開発 (Sustainable Development) に関する調査研究」(受託研究)

- (1) 委託機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成 29 年 12 月 15 日～平成 31 年 1 月 31 日
- (3) 調査研究の概要：

産業技術が高度化し複雑化した現代、SDGs (Sustainable Development) においては、科学技術の役割、産業界の役割が重視され、中小企業やベンチャーも大きな役割を果たしており、活動事例も見られるようになった。これらの活動事例をフォローして新技術の振興を図り、社会経済の発展と福祉の増進に寄与するとの視点から広い視野にわたって活動事例の調査研究を行った。

5-2 スマートホーム技術の展望とわが国の社会課題解決への応用に関する調査研究(研究助成)

- (1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成 30 年 4 月～平成 30 年 9 月
- (3) 調査研究の概要：

スマートホームにハンズフリーのボイスコントロールや AI によるアシスト機能が搭載され家庭に新たなイノベーションが起きつつある。本技術の展望とこれによるわが国社会が抱える課題解決の可能性について調査研究を行い、報告書としてまとめた。

5-3 支払手段の電子化イノベーションに関する調査研究(研究助成)

- (1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会
- (2) 期 間：平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月
- (3) 調査研究の概要：

日本のキャッシュレス化は文化の違いやシステム連携の問題により進んでいない。そこで、そのキャッシュレス化の課題や国内外の支払手段の電子化の違いを調査し、今後の日本のペイメントイノベーションについて考察し、今後の指針とする調査研究を行った。

5-4 事務局受託業務

- (1) 委託機関：(一社) 技術同友会
- (2) 契 約 日：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
- (3) 業務概要：例会・幹事会・委員会運営、助成事業、技術経営士認定制度関連事務等

6 永年表彰

永年会員表彰：個人会員 2名

7 会の動き

7-1 会員数

平成 30 年度末における個人会員、特別会員の状況は下表のとおりとなりました。名誉会員は佐々木元、武安義光、豊田章一郎、野間口有の 4 氏であります。

区 分	平成 29 年度末	平成 30 年度末	平成 30 年度		増 減
			入会	退会	
個人会員	3 2 3	3 3 1	1 8	1 0	8
特別会員	1 0 6	1 0 7	5	4	1

7-2 事務局

平成31年3月31日現在の職員は15名で、内訳は、技術経営会議3名、明日の経営を考える会2名、調査研究部2名、事業部2名、編集部1名、受託事務局2名、総括部3名で構成しています。この中9名は出向者です。

7-3 諸会議

開催日	内容	開催場所
第162回理事会 平成30年4月24日	<審議事項> ・平成29年度事業報告・決算報告(案)について ・理事の選任(案)について ・名誉会員の推薦について ・新入会員の承認について <報告事項> ・平成29年度公益目的支出計画実施報告(案)について	JATES会議室
第52回通常総会 平成30年5月30日	報告事項1：平成29年度事業報告・ 第1号議案：平成29年度決算報告(案) 報告事項2：平成29年度公益目的支出計画実施報告書 第2号議案：理事の選任(案) 第3号議案：名誉会員の推薦(案)	ホテルグラ ンドパレス
第163回理事会 平成30年10月22日	<審議事項> ・個人情報管理規程等の改正について ・新入会員の承認について <報告事項> ・平成30年度上期事業報告について ・第7回「技術経営・イノベーション賞」の実施状況について ・平成30年度上期代表理事・業務執行理事業務報告について	JATES会議室
第164回理事会 平成31年3月12日	<審議事項> ・2019年度(平成31年度)事業計画・収支予算(案)について ・新入会員の承認について <報告事項> ・第7回「技術経営・イノベーション賞」表彰の実施について ・次期総会における永年会員感謝状贈呈者 ・公益目的支出計画の実施完了の報告について ・平成30年度下期代表理事、業務執行理事業務報告について	

【事業報告の附属明細書】

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。